



学校だより ほなみ 穂 竝

平成29年1月16日
新発田市立豊浦中学校
第10号



知る喜びを！ (始業式の話から抜粋)

私は毎年、1月の学校だよりに、その年の干支について調べた内容を紹介しています。

主にネットが中心ですが、調べていると、知らないことだらけで驚きの連続です。

例えば、正月恒例の「箱根駅伝」。何となく知っている、見ているという人もいますが、「箱根駅伝」という言葉は読売新聞東京本社の商標登録で正式名称は「東京箱根間往復大学駅伝競走」。箱根駅伝そのものは、地方大会の一つにすぎず、上位10チームが「出雲全日本大学選抜競争」という全国大会に関東代表として出場できるといったこともちょっと調べるとわかってきます。

今回「酉年」を調べていて一番の驚きは、恥ずかしい話ですが、「酒」の部首が「𠂔 (さんずい)」ではないということです。国語の先生に怒られそうですが、ずっと部首は「さんずい」だと思っていました。

その理由は「学校だより」でふれたいと思いますが、早く知りたいという人は、自分で調べてみてください。今、言うのは簡単ですが、自分で調べるのも大切な勉強です。

ところで、みなさんも、日頃の生活の中で、「なるほど」とか「そうだったのか」「へー、知らなかった」「分かったぞ」と思った経験はありませんか。ギリシャ時代の逸話に、アルキメデスが風呂に入っている最中に、王冠が本物か偽物か調べる方法に気付き、「分かった！」と叫んでそのまま裸で町の中へ飛び出していったという話し残っています。

こういった瞬間が「知る喜び」を感じた瞬間だと思います。

私たちは「知らないことばかり」です。知らなくても困らないこともたくさんありますが、知っていて損をすることはありません。知っていた方がより豊かな生活を送ることができる知識もあります。見える世界も広がります。

一人の人間としての自分を高めるためにも、「知る喜び」を感じる1年にしてもらいたいと思います。そのためにも、積極的に学ぶことにチャレンジしてください。

2017年、今年は酉年

2017年は酉（とり）年。
正確には丁酉（ひのと・とり）年です。

今回の学校だよりの表紙の写真は「トキ」を用いしましたが、酉年の「酉」は「ニワトリ」のことです。ニワトリといえば、

昨年度末に鳥インフルエンザへの感染が大きなニュースとなりました。その後、県内では感染の広がりがみられないようなので、一安心といったところですが、油断はできません。万が一、野外で野鳥が死んでいても決してさわらないようにしてください。

さて、先日の始業式で、「酒」という漢字の部首が「𠂔 (さんずい)」ではないという話をしました。その理由ですが、「酉」という字は、酒壺（さかつぼ）を表す象形文字です。そのため、「酒」という漢字の部首は「𠂔 (さんずい)」ではなく、「酉（とりへん）」なのだそうです。酉年の酉という漢字には「果実が極限まで熟した



状態」という意味があるそうですので、今年は、勉強や部活の練習が実を結ぶ年になるかもしれませんね。

それでは、ニワトリに関する雑学をいくつか紹介しましょう。

○ニワトリの歩き方

首を前後左右に振るあの独特の動きは、周りを見ているのだそうです。ニワトリは眼球運動が出来ないので、目だけで何かを追うことはなく、首全体を動かすのです。

○トサカの役割

ラジエーターの役割をしています。体中が羽毛で覆われて皮膚呼吸が出来ません。そこで、トサカから熱を放出して、体温を保っているのです。

○鳴き声を字（カタカナ）で表すと

【日本語】 コケッコウ

【英語】 クックドゥードゥルドゥー

【フランス語】 コッコリコー

【スペイン語】 キキリキ

【ドイツ語】 キッケリキー

【イタリア語】 キッキリキー

【中国語】 コーコーケー

【韓国】 コッキオ

○1日に産む卵の数

1日1個しか産むことはできません。

○焼き鳥の「ねぎま」の意味

ネギの間に鶏肉が挟んであるから「ねぎ間」と私は思っていました。が、「ねぎま」の「ま」はマグロの意味なのだそうです。ネギとマグロをクシに刺して焼いたり煮たりする料理が「ねぎま」と呼ばれており、それに似ていることから焼き鳥の方も、「ねぎま」と呼ばれるようになったのだそうです。



まだまだ、色々あります。是非ともお子さんと一緒に調べてみてはいかがでしょうか。

いじめのない学校を目指して ～教育相談が始まりました～

今年度3回目の教育相談週間が始まりました。5日間にわたり、担任が生徒全員と面談し、学校生活で悩みや不安はないか等話を聞いています。

豊浦中学校では、楽しく充実した学校生活を

送ることができるよう、4・9・1月に教育相談、6・11・2月に学校生活アンケートを実施しています。その他にも、毎日の生活ノートや休み時間のパトロール等を通して、生徒の様子を見守り、気になる様子が見られた場合は、朝の打合せ等で全職員に知らせ、対応するようにしています。学活や道德等の授業、全校や学年の朝会等の中でも、「いじめ」や「命の大切さ」を取り上げています。生徒会も「いじめ見逃しゼロスクール集会」を企画・運営したり、生徒朝会でレクリエーションを行うなど、仲良く過ごせる環境づくりに取り組んでいます。

これまで、いじめは起きていませんが、友人関係で「嫌なことを言われた」「嫌がることを言ってしまった」「ついカッとなって喧嘩になってしまった」といったトラブルは起きています。

県内をはじめ、各地で「いじめ」や「自殺」が起っています。報道を聞く度に胸が痛む思いです。こういった出来事が起きないように、これからも職員一同、生徒を見守っていきたいと思います。保護者の皆様も、お子さんの様子で気になることがありましたら、ご連絡いただきたいと思っています。



保護者アンケートありがとうございました

年末のお忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

保護者アンケート、生徒アンケート、職員アンケートの結果を参考に、今後の学校運営を考えていきたいと思っています。

自由記述の中に、いじめへの対応に関する質問と、登下校時の自転車のマナーの悪さについてご指摘いただきました。

いじめへの対応につきましては、国の「いじめ防止対策推進法」を受けて作成された国・県・市及び豊浦中学校の「いじめ防止基本方針」を基にいじめの防止に取り組んでおります。豊浦中学校の具体的な取組については、今回の学校だよりで紹介しました。

また、自転車のマナーについては、これまでも、度々指導は行ってきたのですが、2学期の終業式後にも再度全校生徒に指導を行いました。今後も、全校集会や学活等で繰り返し指導を行っていきます。保護者の皆様も、危険な様子が見られたら、その都度直接注意をしたり、学校へ連絡したりするなど、ご協力をお願いします。